

イオパミドールを用いた消化管造影検査について

平素より当院の診療にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

現在、消化管の検査などで使用されている造影剤「ガストログラフィン®」が、全国的に限定出荷となり供給不足が続いています。このため当院では、検査を安全に継続するため、代替造影剤として「イオパミドール」を使用する場合があります。

・イオパミドールとは

非イオン性ヨード造影剤であり、国内では CT 検査や血管造影で広く使用され、安全性が確立しています。

海外では消化管造影への経口・注腸投与が正式適応とされており、安全性と有効性が報告されています。

非イオン性造影剤は、従来のガストログラフィン（イオン性造影剤）より 誤嚥時の肺炎リスクが低い可能性が報告されています。国内でも複数の公的病院が、倫理委員会・院内審査を経て、ガストログラフィン供給不足時の代替として使用しています。

・検査への影響

イオパミドールを使用しても、検査の目的や診断精度に大きな影響はありません。

医師が患者様の状態を確認し、必要な場合にのみ使用します。

・副作用・注意点

イオパミドールは長年使用されている造影剤ですが、以下の症状が起こる可能性があります。

消化器症状：悪心、嘔吐、腹痛、下痢

アレルギー反応：発疹、かゆみ、蕁麻疹、血圧低下、まれにアナフィラキシーショック

誤嚥時の肺合併症：咳、低酸素、誤嚥性肺炎（頻度は低い）

※検査中・検査後に気分不良や発疹、呼吸苦などがありましたら、すぐにスタッフへお知らせください。

・適用外使用について

イオパミドールの消化管内投与は国内では承認されていません（適応外使用）。

ただし、海外での使用実績や安全性データがあり、国内の複数病院でも医学的妥当性があると判断され使用されています。当院でも、医学的必要性と安全性を確認したうえで使用します。

・費用について

通常の保険診療として扱われ、追加の費用負担はありません。

副作用が生じた場合も保険診療で対応します。

・ご理解とご協力のお願い

ガストログラフィンの供給が安定するまでの間、検査を安全に継続するための暫定的な対応です。ご不安な点がございましたら、遠慮なくスタッフへお声がけください。

2026 年 8 月 1 日

鎌倉ヒロ病院